

みすずかる

西近津遺跡群から望む浅間山

【トピックス】

-佐久市-

にしちかついせきぐん
西近津遺跡群



◎古墳時代の^{たてあなじゆうきよあと}竪穴住居跡で、床上に焼けた土や木材が出土しました。



◎伏せて置いた^{こしき}甑と^{かめ}甕。手前にある丸く底が抜けているのが甑で、その左奥が甕です。



◎カマドの右側にある穴状に落ち込んだところから、^{たかつき}高坏がまとまって出土しています。

平成19年度事業のあらまし

当センターでは、今年度も開発に伴う記録保存と普及啓発に係る事業を予定しています。

発掘調査の注目株は佐久市西近津遺跡群でしょう。ここは佐久平を代表する弥生時代の大集落です。集落の成り立ちを、竪穴住居跡や多量の土器・石器からどこまで追究することができるか、大きな課題です。また、「蘇民将来」符が見つかった千曲市東條遺跡の調査も見逃せません。今年度は、いよいよ鎌倉・室町時代の「町屋」の全貌が明かになります。

一方、整理作業では伊那市東高遠若宮武家屋敷跡や茅野市構井・阿弥陀堂遺跡が報告書の刊行に向け佳境に入りました。こうした発掘、整理の様子は、現地見学会や速報展等を通して、随時皆さまにご紹介していきます。

- 県内各地で進む発掘調査の状況 -

- 坂城町 - 上五明条里水田址

平安時代（10世紀頃）の集落跡から長さ2.15m、幅1.2m、深さ0.5mの掘り方をもつ木棺墓が1基検出されました。注目すべきは土器や鉄製紡錘車とともに、腰よりもやや低い位置で、7点の鉄鐸と思われるものが出土したことです。鉄鐸は神事に使われたと推測される鈴であり、被葬者はこの鈴を腰のあたりにぶら下げていたのでしょうか。現在、調査している集落の、支配者クラスの墓であったと考えられます。



- 中野市 - 宮沖遺跡

斑尾川沿いの遺跡で昨年調査した川久保遺跡の隣にあります。現在は段丘上の古墳時代～中世の集落跡や畑跡を調査しており、竪穴住居跡や掘立柱建物跡がみついています。写真の黒い部分が調査前の竪穴住居跡です。



- 千曲市 - 東條遺跡

四方に石を配した3m四方の竪穴状遺構が5ヶ所みつかりました。底は床のように固くなり、炭や焼土もありました。時期は室町時代後半頃と考えています。全国的にも類例が少ないようです。



- 佐久市 - 西近津遺跡群

弥生時代後期の超大型住居跡が発見された遺跡です。現在の調査区は時代弥生後期～平安時代の集落が広がっています。土地を区画するような溝跡と建物跡群との関連が注目されます。



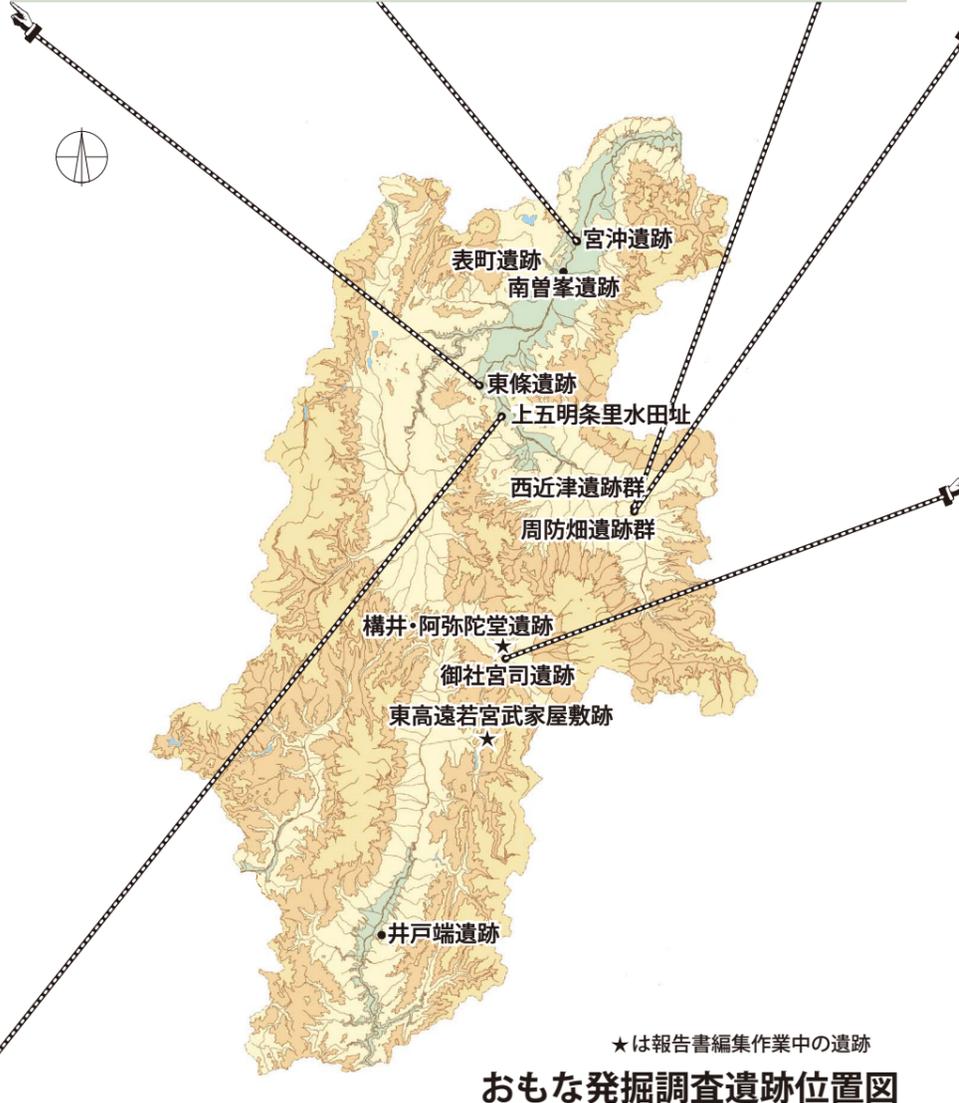
- 佐久市 - 周防畑遺跡群

弥生時代の竪穴住居跡や円形周溝墓、平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などがみつかり、弥生時代としてはひじょうに大きい、5cm大のヒスイ製勾玉が円形周溝墓のそばから出土しています。



- 茅野市 - 御社宮司遺跡

鎌倉から戦国時代のムラが、田沢沢川の際まで広がることが判明しました。今年度の調査区では、掘立柱建物跡が数棟単位でまとまり、建物跡が希薄な場所には貯蔵用と思われる円形で深い穴が複数検出されました。



平成19年度 長野県埋蔵文化財センター事業計画一覧（平成19年6月現在）

事業内容	調査遺跡名	事業名	委託事業者名
発掘調査	佐久市	中部横断自動車道建設	国土交通省
	西近津遺跡群ほか	関連(佐久JCT-八千穂)	関東地方整備局
	千曲市	国道18号坂城・更埴	国土交通省
	東條遺跡	バイパス建設関連	関東地方整備局
	茅野市	国道20号	国土交通省
	御社宮司遺跡	坂室バイパス建設関連	関東地方整備局
	飯田市	国道474号	国土交通省
	井戸端遺跡ほか	飯橋道路建設関連	中部地方整備局
	中野市	千曲川替佐・柳沢	国土交通省
	宮沖遺跡ほか	築堤建設関連	北陸地方整備局
整理/報告	長野市	北陸新幹線建設関連	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
	南曾峯遺跡		鉄道建設本部
	坂城町	(主)長野上田線	北陸新幹線建設局
	上五明条里水田址ほか	力石バイパス建設関連	千曲建設事務所
	飯綱町	県道長野荒瀬原線建設	長野建設事務所
	表町遺跡	関連	
	茅野市	県道大年線建設関連	諏訪建設事務所
	構井・阿弥陀堂遺跡		
	伊那市	国道152号	伊那建設事務所
	東高遠若宮武家屋敷跡	高遠バイパス建設関連	伊那市

- 埋文ニュース -

○『埋もれていた信州遺産の発見』を終えて
平成19年度長野県立歴史館春季展として
開催し、5,962名の方にご覧いただきました。



展示を通して、長野県内で暮らしていた旧石器時代～中世の人々の生活の痕跡と心の軌跡がイメージできたでしょうか。

今後も、速報展とは別に、今回のような企画展を開催できるよう、力を蓄えて行きたいと考えています。

□ 発掘調査遺跡の現地説明会・・・東條遺跡

6月24日（日）千曲市東條遺跡の遺跡説明会が梅雨の合間を縫って行われました。中世の石で囲んだ遺構・礎石建物跡・井戸跡などをご覧いただく機会になりました。

県内で最も古い資料とされた「蘇民将来」符（木簡）が見つかった遺跡ということで知られ、地元の方や周辺住民の方々など100名を越す皆さんが足を運んでこられました。

当センターとして今年度初めての現地説明会でしたが、各地で行われている発掘調査遺跡ごと今後順次開かれる予定です。新聞・ホームページ等でお知らせします。



- INFORMATION -

文化庁巡回展がやってきます。

発掘された日本列島 2007

- 新発見考古速報展 -

場所：長野県立歴史館

期日：平成19年9月1日（土）から
9月30日（日）まで

全国の最新の資料が展示されます。長野県からは全国唯一となる千曲市社宮司遺跡から出土した「六角木幢」複製品が展示されます。



発掘された日本列島2007
・新発見考古速報展・

最新刊行報告書のご案内

発掘調査報告書 80 - 飯田市内 - 石子原遺跡ほか

発掘調査報告書 81 - 南箕輪村内 - 箕輪遺跡

発掘調査報告書 82 - 茅野市内 - 駒形遺跡

- 野帳 -

2006年度発掘調査の成果が、長野県立歴史館と伊那文化会館で展示・発表されました。1万人以上の皆さんが訪れ、多くの展示品に足を止めてご覧いただいたことに感謝いたします。

財団法人 長野県文化振興事業団

長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4

TEL 026-293-5926 FAX 026-293-8157

E-mail maibun@grn.janis.or.jp

HP <http://www.grn.janis.or.jp/~maibun/>